

令和7年3月18日

意見発表

◆谷口かずふみ委員

公明党県議団として意見発表を行います。

4点申し上げたいと思います。

まず、県職員向けカスタマーハラスメント対策についての問題であります。

今定例会で私の代表質問では、知事から解決の難しいカスハラ案件に関しては弁護士に相談できる窓口を新たに設置し、法的措置も辞さない強い姿勢でカスハラの対策を進めていくとの答弁がありました。弁護士相談が行われた場合、弁護士が状況を確認するための多くの資料や記録を用意する必要があります。そういう意味で法にのっとりた形で必要な記録をしっかりと動かせるよう、取り組んでいただくよう要望します。

次に、県庁版社内ベンチャー制度について申し上げます。

この制度については、令和6年第3回定例会において我が会派の鈴木議員が提案し、知事からその創設について答弁がありました。そして、来年度予算案ですぐに事業化、予算化をしていただいたことに感謝を申し上げたいと思います。今回、提案が採択される職員には、しっかりと提案事業を順調に進めていただきたいと考えています。その一方で、採択されない提案のその提案者についてはしっかりとフォローし、実を結ぶようサポートをしていただくよう要望いたします。

次に、生成AI、ChatGPTの活用について申し上げます。

本県においては、令和5年度からChatGPTの活用を推進し業務の効率化を図ってきたと承知しています。また、利用促進のためにガイドラインの緩和やショート動画、標準プロンプトの作成を行い、PC台数ベースで全職員の4分の1まで利用者が増えてきたとのこととあります。今後は、さらなる業務効率化、利用促進を図るために、セキュリティ面や費用面の課題をクリアした上で最新のバージョンを利用することも、ぜひ御検討いただきたいと思います。さらには幹部が率先して活用し、その体験を横展開、縦展開して、業務の合理化につなげていただくよう要望します。

最後に、厚木駅周辺の第1種区域等の見直しについて申し上げます。

国は、厚木駅周辺で住宅防音工事への助成等の負担軽減策を講じていますが、現在、その対象区域、いわゆる第1種区域等を見直そうとする動きを進めており、地域の重要な課題、問題となっています。第1種区域等の見直しの問題については、本会議でもまた本委員会でも度々取り上げ、その都度状況を確認させていただいておりますが、今後も新たな動きがあればしっかりと情報提供をいただきたいと思います。また、空母艦載機部隊の移駐により区域が大幅に縮小する可能性があるとも言われていますが、時にはジェット戦闘機が2機編隊で飛行するなど、実感として全く騒音がゼロになったというわけではありません。県では、現在の騒音状況に即した対策を確実に講じるなど、駅周辺住民の方々に寄り添った対応を国に求めているよう要望いたします。

以上、意見、要望を申し上げましたが、当常任委員会に付託された諸議案に賛成し、意見発表を終わります。